

滋賀県警察本部と守山警察署へ感謝状を贈呈

～交通事故を偽装して多額の保険金を搾取した被疑者グループ検挙へ感謝の意～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：中村 哲・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社常務執行役員）では、2月27日（火）に滋賀県警察本部 交通部交通指導課と滋賀県守山警察署に対して感謝状を贈呈しました。

本件は、偽装交通事故を作出して保険金の不正請求を企て、治療費や車の修理代等、多額の保険金を搾取した被疑者グループを検挙いただいたことへ感謝の意を表したものです。

各警察で行われた贈呈式では、当支部事務局長の 田中 英夫から滋賀県警察本部の 船越 剛之 交通部長（警視正）、守山警察署の 中山 淳 署長（警視）に対して感謝状を贈呈し、事件検挙への謝辞を述べました。

今回、損害保険料率算出機構と合同で贈呈式を行うこととなり、同機構自賠責損害調査センターの 原田 健一 近畿本部長からも両警察に対して感謝状が贈呈されました。

当支部は、今後も警察等と連携しながら、不正請求の排除に向けた活動に取り組むことで、損害保険事業の健全な運営を行ってまいります。



田中事務局長(左)から船越交通部長(右)へ贈呈



田中事務局長(左)から中山署長(左)へ贈呈



贈呈した感謝状 (県警本部)



記念撮影 (県警本部)

前列左から、田中事務局長、原田近畿本部長、船越交通部長、古谷交通指導課長、芦田交通指導官、後列左から大津自賠責損害調査事務所 小林所長、同事務所 松岡特別調査役